能動的なサイバー脅威・脆弱性の調査 ～オープンソースインテリジェンスによる調査技法の解説【オンラインライブ】（4125237）

本セミナーでは、サイバー脅威に係るオープンソースインテリジェンス（OSINT）の基礎と、具体的なツールの紹介を通じた実践的なテクニックについて解説します。

開催日時	2025年11月19日(水) 13:00-17:00ライブ配信
JUAS研修分類	セキュリティ(サイバーセキュリティ)
カテゴリー	共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査 専門スキル
DXリテラシー	How(データ・技術の活用)：留意点
講師	小林弘典 氏 （NRIセキュアテクノロジーズ株式会社　研究開発センター　インテリジェンス統括部 エキスパート・セキュリティリサーチャー ） グローバルSIerにてクラウドセキュリティを専門とする業務に従事。直近では、サイバー脅威に関わる分析・調査活動に携わっている。
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：23,650円 一般：30,250円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	組織のサイバーセキュリティやブランド保護に関わるセキュリティ担当者、リスク管理担当者 中級
開催形式	講義・個人演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	4

主な内容

■受講形態
ライブ配信（Zoomミーティング）【セミナーのオンライン受講について 】
■テキスト
開催７日前を目途にマイページ掲載
■開催日までの課題事項
特になし

組織が管理するデジタル資産が増大する一方で、データ漏洩やフィッシング詐欺といった様々なサイバー脅威が高まり続けている昨今において、
組織が抱える潜在的な脅威を迅速に特定し、リスク軽減措置をとることが益々重要になっています。

オープンソースインテリジェンス（OSINT）は、公開されているソースから情報を収集、分析、活用する一連のプロセスです。
膨大な量のオンラインデータから必要な情報を収集し、組織のセキュリティ対策に役立てるためには、様々な調査・分析テクニックを駆使する必要があります。

本セミナーでは、サイバー脅威に係るOSINTの基礎と、具体的なツールの紹介を通じた実践的なテクニックについて解説します。

■主な内容
OSINT概論
OSINTの方法論とアプローチ
調査環境の構築、デバイスとプライバシーの保護
脅威／脆弱性情報の調査
攻撃対象領域（Attack Surface）の調査

デジタルフットプリント、漏洩データ、マルウェア感染の調査
ダークウェブ調査